

多くの来場者で賑わいました

お客さんコイまつりなど様々なイベントを開催

ゴールデンウィーク期間中、霞ヶ浦ふれあいランドなどで様々なイベントが開催されました。

お客さんコイまつりが開催された霞ヶ浦ふれあいランドでは、コイ・フナ釣り体験や金魚すくい、ペダルボート、餅つき大会などが開催され、多くの来場者で賑わいました。

また、5月5日は、旧玉造駅前通りなどを会場に、上町ばやしによる山車の巡幸のほか、自衛隊の活動を撮影したパネル展示や、東日本大震災の被災者支援として、高校生会が募金活動を行いました。



草花は心のオアシスです

「花で彩るまちづくり人材養成講座」修了生が草花を配布

東日本大震災は、行方市に甚大な被害をもたらしましたが、植物はさまざまな出来事にも負けぬかのように、上を向いて元気に花を咲かせています。

市民の皆様へ元気を届けようと、4月30日、講座修了生が自ら育てたアゲラタムやマリーゴールドを会員を中心に近所の方々や公共施設等に配りました。

道際や自宅の入り口などのよく見える場所に植えていたきたいとのことで、草花から心癒し、明日からの活力源にしていただければ幸いです。

皆さんもガーデニングで心のオアシスを探しましょう。

本と親しむきっかけ作り

本とあそぼう！全国訪問おはなし隊

子どもたちが本と親しむきっかけ作りを目的に、全国を訪問している「本とあそぼう！全国訪問おはなし隊」。

今回、読み聞かせ活動などを行っている「四つ葉会（大軒光江会長）」の招きにより、550冊の本を積んだキャラバンカーが、4月17日、榎本地区農研研修センターを訪問しました。

この催しは、絵本を通じて全国に元気を届けようと、講談社が無償で行っているもので、同センター周辺に在住する親子や地域の図書ボランティアなど約80名が訪れ、たくさんの楽しい本に出会いました。



つながる絆 希望の絆 行方の力

福島県楢葉町被災地支援活動

全国山百合サミットの仲間として行方市と深いつながりのある福島県楢葉町。

原発事故により同町民は、避難生活を余儀なくされ、市では、一日も早い避難生活の解消と復興を願い、同町が庁舎機能を移転している福島県会津美里町などを訪れ、伊藤市長のメッセージのほか、行方産のいちご50箱とスポーツタオル300本を鈴木伸一副町長に手渡しました。

鈴木副町長は、行方市民へ感謝の意を述べるとともに、見通しの経たない現状への不満と、原発事故の早期収束を訴えていました。

たくさんの善意ありがとうございます

行方市に義援金

○食べ処わたなべ 53,000円 ○行方市商工会 63,000円
○奈良崎正明チャリティーコンペ 112,400円 ○太極拳
たまつくり虹の会 13,741円 ○(株)カスミ 5,000,000円
○行方市ゲートボール連合会 100,000円 ○東京書籍(株)
1,000,000円 ○麻生観光開発(株)麻生カントリークラブ
1,000,000円 ○法テラス福岡法律事務所 佐藤力様
5,000円 ○箕輪リース(株) 100,000円 ○箕輪リース(株)協
力者及び社員一同 104,000円 ○全国市議会議長会
50,000円 ○ラジコンボート愛好会一同 81,174円 ○全国
市町村水産業振興対策協議会 30,000円 ○モラロジー研
究所 1,000,000円

(順不同・敬称略) ※ 5月19日現在



5月13日、(株)カスミ代表取締役社長に感謝状を贈呈

食べて応援しよう！東日本野菜フェア

行方野菜をPRしてきました

5月12日(木) 東京海上日動ビル本館1階 外部テラス
で茨城県主催の「食べて応援しよう！東日本野菜フェア」が
開催され、行方市も参加してきました。

よしもと芸人の佐久間一行さん・オスペンギンさん、佐々
木主浩さん・榎本加奈子さん夫妻、柏木由紀子さん・舞坂
ゆき子さん親子等が応援に来てくださいました。たくさんの
人に野菜を買っていただき、行方市の野菜をPRすることが
できました。風評被害を払拭するため、市では今後も積極
的にPRを行っていく予定です。



北浦地区生活排水事業検討協議会

市長に意見書を提出

北浦地区生活排水事業検討協議会は、豊かな暮らしを
実現するための生活環境の改善を図るため、北浦地区に
おける生活排水等の処理に関する調査・研究・検討を図
ることを目的に、平成21年7月1日付けで行方市議会
建設委員長、副委員長、北浦地区市議会議員、北浦地区
区長、その他学識者計31名で発足し、協議・研修を重
ねた結果、平成23年2月1日行方市長に対して、北浦
地区は、人口密集地も少なく、また、既存の合併浄化槽
もあることから、北浦地区全域を市設置型浄化槽事業で
計画的に整備を進める内容で意見を提出しました。



災害復旧支援車両が寄贈されました

プジョー・シトロエン・ジャポンより

プジョー・シトロエン・ジャポンのティエリー・ポワ
ラ社長と、プジョーのディーラーを務める関彰商事の関
正樹社長が4月28日、茨城県庁を訪れ、災害復旧支援
車両として乗用車10台とマウンテンバイク22台を県に
寄贈しました。これは、東日本大震災による被災地域を
支援するために茨城県を通して贈られたものです。

その中から乗用車1台、マウンテンバイク3台が行方
市に。市では乗用車を麻生庁舎、マウンテンバイクを各
庁舎に配置し、災害復旧へ役立てていく予定です。